

## 2022年度年末手当交渉

### 鉄研労

## 「2.3カ月 + 6,000円」妥結！

鉄研労は、この間の交渉で、コロナ禍によって直接現場に足を運ぶ機会が減っている中、教育をはじめとする技術力の維持・向上は、組合員の弛まぬ努力によって成り立っていること。また、技術を持った人材の確保と、今後も魅力ある職場としていくためには、年末手当は極めて重要であることを意識し、交渉に臨んできました。

その結果11月18日、年末手当「2.3カ月」と、新型コロナウイルス感染症予防の在宅勤務等への加算として「6,000円」の回答を受け、妥結に至りました。

### JR東海労

## 「2.7カ月」妥結！

JR東海労は、11月10日に年末手当回答「2.7カ月」が示されましたが、コロナ禍で3期ぶりの黒字決算の達成と、日々安全安定輸送に努力している組合員・社員の苦労に満額回答で応えることを強く求め、再申し入れをおこなってきました。

JR東海労は15日に開催した団体交渉で、「会社回答に現場社員は落胆している。その気持ちを真摯に受け止めるべきだ」と、回答の撤回、ならびに支給の上積みを強く求めてきました。しかし、JR連合・東海ユニオンが低額要求即日先行妥結した中、JR東海会社は考えを変えることはなく対立を確認し、持ち帰り検討としていました。

JR東海労は18日の執行委員会で、これ以上の前進は困難と判断し、会社に対して妥結の通告をおこないました。